

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	3	文化・スポーツを通じて市民が元気なまちにします

施策	2	郷土の文化を大切にすまにします	担当部(統括部)	生涯学習部
----	---	-----------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	市民が歴史・文化に関心を持ち、大切にして次世代に引き継がれています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	歴史・文化が市の魅力となり、市民が気軽に親しむことができます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	歴史・文化を通じて、人と人とのふれあいができています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
歴史に関する団体の会員数	目標	—	—	120人	120人	120人	130人	140人	140人	140人	150人
	実績	110人	110人	92人	92人	91人					
歴史に関する講座の延参加者数	目標	—	—	260人	280人	300人	350人	370人	370人	370人	400人
	実績	309人	242人	312人	381人	292人					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

○郷土文化の保存・伝承						
市民による自主的な伝承活動の支援や伝承ボランティアの育成を行うとともに、デジタルデータなどを活用して、郷土芸能を継承します。また、学校教育の中で、郷土文化の学習に取り組みます。						
平成27年度事業	◇文化財保護事業2,791千円(生涯学習課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	後期終了年度 平成32年度
計画	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを育成	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを育成	市内の郷土芸能や文化を保存・継承するため、その実態把握を行う	郷土芸能や文化を保存・継承するために、講座やイベント、補助など具体的な検討を行う	郷土芸能や文化を保存・継承するために、講座やイベント、補助など具体的な施策について実施する	デジタルデータを活用して郷土芸能を継承
取組実績	DVDを教材として、鳥飼東公民館において『江州音頭を伝える民謡講座』と『江州音頭コンサート』を実施した。					
成果	講座には48人、コンサートには24人が参加した。講座修了生から、江州音頭の会の立ち上げにつながった。					
次年度課題	今後も講座を開催し、伝承者の増加を図る。					
計画	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校と連携し、郷土史や郷土文化学習のための環境を検証	学校と連携し、郷土史や郷土文化学習のための環境の整備	学校と連携し、幅広い郷土史や郷土文化学習の実施	副読本を時代背景にあった郷土史文化に改定する
取組実績	小学3年生が副読本「わたしたちの摂津」を活用し、地域の神社の行事や郷土の資料について学習した。					
成果	身近な行事や実際に使っていた農具などを知り、郷土の歴史が実感でき、興味や関心を高めてもらった。					
次年度課題	副読本に掲載されている場所から離れている小学校からも継続して現場に行ってもらえるようにする。					

◎文化財の適切な保存

生活民具や生産農具などの文化財を集約して適切に保管するとともに、既存施設を活用し、市民と協働で公開展示します。また、埋蔵文化財を発掘し、その破壊と散逸を防ぐため、「文化財保護法」により必要な措置を図るとともに、「摂津市文化財保護条例」に基づき、市内の有形・無形文化財を保護します。

平成27年度事業	◇文化財保護事業2,791千円(生涯学習課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	文化財の適切な保護保存を図りつつ、文化財を活用した(行政主導による)啓発イベントを実施する	文化財の適切な保護保存を図りつつ、文化財を活用した(市民団体との協働による)啓発イベントを実施する	文化財の適切な保護保存を図りつつ、文化財を活用した(他の市民イベントと連携した)啓発イベントを実施する	公開展示のPR及び内容の充実
取組実績	摂津市指定有形文化財建造物である旧一津屋公会堂において現地見学会を開催した。					
成果	参加は80人で、指定文化財を市民へ啓発することにより、郷土愛を育むことにつながった。					
次年度課題	旧一津屋公会堂の活用については、耐震補強の問題等から、さらなる検討が必要である。					
計画	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPRするため地域団体との連携を検討	市内の文化財のPRを地域団体と協働で実施	地域団体と協働で行う市内の文化財のPRについて評価	市指定文化財を保存・活用し、市内の文化財を広くPR
取組実績	明和池遺跡の発掘調査から出土した遺物を教材とした夏休み子ども拓本体験教室を実施した。					
成果	実際に明和池遺跡から出土した遺物に触れ勉強することにより、摂津市の歴史をより身近に感じる機会を提供できた。					
次年度課題	明和池遺跡をより広く市民へ周知できるように、様々な企画を展開する必要がある。					
計画	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	単なる歴史講座ではなく、地域学習の観点からの新たな講座内容について検討する	若い世代にも摂津市を学んでもらうための講座内容の充実や、実施日・実施時間の見直しを図る	地域学習を地域のまちづくりに繋げるため、ふるさとせつ案内人と連携し、自主的に地域学習を行う人材を育成するための講座・イベントの実施を行う	ふるさと摂津案内人が文化財からふるさとの歴史を学習する機会を提供
取組実績	ふるさと摂津案内人を講師とした「ふるさと摂津講座」を6回開催した。					
成果	参加市民に摂津市の歴史を啓発することができた。					
次年度課題	「ふるさと摂津講座」がコミュニティプラザで開催されており、安威川以南での啓発を行えるようにする必要がある。					

◎新修摂津市史の発行						
歴史を学習する自主グループが学習成果を生かすことができるよう、市主催の文化財講座や出前講座の講師として活躍する機会を拡充します。						
平成27年度事業	摂津市史編さん事業17,464千円(市史編さん室)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理保存・解説・分析等 摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理保存・解説・分析等 摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理保存・解説・分析等 摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・保存・分析等 『新修摂津市史』古代・中世編、近世・近現代編の編集協議、執筆調整 摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・保存・分析等 『新修摂津市史』古代・中世編、近世・近現代編の編集協議、執筆調整 摂津市史編さん委員会の開催	摂津市史古代・中世編、近世・近現代編の編集作業
取組実績	味舌下・鳥飼上地域古文書の分類・目録作成、デジタル撮影及び解説・分析等を行った。『昭和28年災害史料集』を発行した。また、市史編さん委員会を開催した。					
成果	膨大な史料を整理しながら、市史編さんの基礎づくりを地道に、かつ着実に実施することができた。					
次年度課題	新たな史料調査を始める。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

ふるさと摂津案内人						
歴史を学習する自主グループが学習成果を生かすことができるよう、市主催の文化財講座や出前講座の講師として活躍する機会を拡充します。						
平成27年度事業	◇文化財保護事業2,791千円(生涯学習課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	ふるさと摂津案内人養成講座を開催	活動場所である、ふるさと摂津講座の充実	ふるさと摂津案内人養成講座を幅広い世代の人が受講できるように内容を検討	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充するため、イベントなどへの参画を検討	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充するため、イベントなどへの参画を促進	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充
取組実績	ふるさと摂津案内人の養成講座を開催した。					
成果	案内人養成講座は、3人が修了。ふるさと摂津講座は149人の受講があった。					
次年度課題	ふるさと摂津案内人養成講座の内容の充実。					